

ワイヤレスオーディオリピータ  
CPI-WX201 ユーザーズマニュアル



株式会社 シーピーアイテクノロジーズ

# 目次

ご注意	I
保証規定	II
製品について	III
安全上のご注意	V
<b>1. 概要</b>	<b>1</b>
1-1. はじめに	1
1-2. 特長	2
<b>2. 各部の名称と役割</b>	<b>3</b>
2-1. 上流側ユニット (ユニットU)	3
2-2. 下流側ユニット (ユニットD)	4
<b>3. 準備</b>	<b>5</b>
3-1. リピータとは	5
3-2. リピータと電波干渉	6
3-3. アンテナの特徴	7
3-4. ペアリング	9
<b>4. 使用</b>	<b>11</b>
4-1. 基本的な使用方法	11
4-2. 音の途切れ	11
<b>5. 設置例</b>	<b>12</b>
<b>6. おかしいと思ったら</b>	<b>13</b>
<b>7. 製品仕様</b>	<b>14</b>
製品のお問い合わせについて	15

## ご注意

1. 本製品の外観や仕様及び取扱説明書に記載されている事項は、将来予告なしに変更することがあります。
2. 取扱説明書に記載のすべての事項について、株式会社シーピーアイテクノロジーズから文書による許諾を得ずに行う、あらゆる複製も転載も禁じます。
3. この取扱説明書に記載されている会社名及び製品名は、各社の商標又は登録商標です。
4. 取扱説明書の内容を十分に理解しないまま本製品を扱うことは、おやめください。本製品の取扱いについては安全上細心の注意が必要です。取扱い説明を十分に理解してから本製品をご使用ください。
5. 本製品は、日本国内においてのみ、無許可で使用が可能です。国外では、そのまま使用することはできません。
6. 本製品は 2.4GHz 帯の無線を使用しています。同じ周波数帯を使用する無線 LAN アクセスポイントや無線 LAN、Bluetooth 搭載機器（パーソナルコンピュータ、ゲーム機、スマートフォンなど）やアマチュア無線、デジタルコードレス電話、電子レンジ等と電波の干渉が発生するため、これらの機器に妨害を与えたり、またこれらの機器から妨害を受けて、音声途切れたり、リンクが切断する可能性もあります。特に昨今ではこの周波数帯の利用機器が著しく増加したため、その可能性はさらに高くなっている状況にあるものと思われます。また、上記のような環境下でない場合においても、無線の性質上、音声途切れる可能性も考えられます。したがって、運用の際は、実際に使用される場所での通信品質の妥当性の検証を十分に行ってください。しかし、いずれの場合においても、音声途切れがないことは保証できかねますので、それが必要となるアプリケーションには、ご使用にならないでください。
7. 本製品に内蔵の無線モジュールのハードウェア、ソフトウェアに変更を加えて、弊社出荷時と異なる状態にして動作させることは、法律違反となります。また、弊社指定品以外のアンテナやケーブル等を接続して動作させることも、法律違反となります。絶対におやめください。
8. 本製品の運用や、それに関する情報は、明示、暗示にかかわらず、それにより起因する結果のすべてについて、弊社はその責任を負いかねます。

# 保証規定

## 1. 保証の範囲

- 1.1 この保証規定は、弊社—株式会社シーピーアイテクノロジーズが製造・出荷し、お客様にご購入いただいたハードウェア製品に適用されます。
- 1.2 弊社によって出荷されたソフトウェア製品については、弊社所定のソフトウェア使用許諾契約書の規定が適用されます。
- 1.3 弊社以外で製造されたハードウェア又はソフトウェア製品については、製造元／供給元が出荷した製品そのままを提供いたしますが、かかる製品には、その製造元／供給元が独自の保証を規定することがあります。

## 2. 保証条件

弊社は、以下の条項に基づき製品を保証いたします。不慮の製品トラブルを未然に防ぐためにも、あらかじめ各条項をご理解のうえ製品をご使用ください。

- 2.1 この保証規定は弊社の製品保証の根幹をなすものであり、製品によっては、その取扱説明書や保証書などで更に内容が細分化され個別に規定されることがあります。したがって、ここに規定する各条項の拡大解釈による取扱いや特定目的への使用に際しては十分にご注意ください。
- 2.2 製品の保証期間は、製品に添付される「保証書」に記載された期間となり、弊社は、保証期間中に発見された製品の不具合について保証の責任をもちます。
- 2.3 保証期間中の製品の不具合について、弊社は不具合部品を無償で修理又は交換します。ただし、次の場合は保証の適用外となります。
  1. 保証書の提示がない場合、または、保証書にご購入年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、もしくは字句が書き替えられた場合。
  2. 取扱上の不注意や誤用による故障や損傷。
  3. 接続している他の機器または指定以外の部品使用に起因して故障が生じた場合。
  4. 弊社指定以外で調整や保守、修理などを行った場合、及び改造した場合。
  5. 火災、地震、風水害、落電、その他の災害や公害、異常電圧などによる故障や損傷。
- 2.4 消耗部材を取り替える場合は保証の対象とはなりません。
- 2.5 原子力関連、医療関連、鉄道等運輸関連、ビル管理、その他の人命に関わるあらゆる事物の施設・設備・器機など全般にわたり、製品を部品や機材として使用することはできません。もし、これらへ使用した場合は保証の適用外となり、いかなる不具合及び損害や損失についても弊社は責任を負いません。また、本製品を用いて製造された二次生成物がこれらに使用された場合も同様とします。
- 2.6 弊社は本製品の運用を理由とするいかなる損害、損失等の請求につきましては、これに応じかねますので、あらかじめご了承ください。
- 2.7 本製品は日本国内向け仕様であり、海外の諸規格には準拠しておりません。また、海外で使用した場合は保証の適用外となります。

# 製品について

## 製品構成

CPI-WX201	
上流側ユニット	1
下流側ユニット	1
スリーブアンテナ	2
パッチアンテナ	2
データケーブル 1m *1	1
AC アダプタ	1
保証書	1

\*1 長さが不足する場合は市販のLANケーブルをお使いください。  
カテゴリ5 (CAT5) 以上のストレート配線（全ペア配線あり）のもので、最長  
10m まで対応します。

## 注 意

弊社指定品以外のアンテナやケーブルなどを本機のアンテナ端子に接続して動作させることは、法律違反となります。絶対におやめください。

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認して下さい。
2. 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか又は電波の発射を停止して下さい。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、弊社までお問い合わせ下さい。

# 安全上のご注意

ここに示す注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は、誤った取扱いで生じる危害や損害の大きさ、又は切迫の程度によって内容を「警告」と「注意」の2つに分けています。「警告」や「注意」はそれぞれ次のことを知らせていますので、その内容をよくご理解なさってから本文をお読みください。

**警告：** この指示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡したり重傷を負ったりすることがあります。

**注意：** この指示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり、物に損害を受けたりすることがあります。



## —— 感電や火災の危険があります ——

- AC アダプタは絶対に分解しないでください。内部にさわると感電するおそれがあります。濡れた手で AC アダプタを取り扱うことは絶対に行わないでください。感電のおそれがあります。
- 電源は AC100V でお使いください。また、タコ足配線をしないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 傷ついたり破損した AC アダプタおよび AC アダプタのコードは絶対に使用しないでください。また、AC アダプタやコードを改造しないでください。火災や感電のおそれがあります。
- AC アダプタのコードの上に物を置かないでください。また、無理に曲げたり、引っ張ったりしないでください。コードをいため、火災や感電の原因となることがあります。
- AC アダプタをコンセントから抜くときに、コードを引っ張らないでください。コードをいため、火災や感電の原因となることがあります。

- 付属の AC アダプタ以外の AC アダプタは使わないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- この装置を分解したり、改造しないでください。火災や感電の原因となることがあります。万一、発熱、煙が出ている、異臭がするなどの異常に気が付いた場合はすぐに電源スイッチをきり、その後に AC アダプタをコンセントから抜いてください。異常状態のまま使用すると火災や感電のおそれがあります。
- 万一、金属片、水、その他の液体等の異物が機器の内部に入った場合はすぐに電源スイッチを切り、その後に AC アダプタをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、火災や感電のおそれがあります。
- この装置は、一般の LAN 機器のコネクタ、ケーブルを採用していますが、独自仕様です。他の機器とは絶対に接続しないでください。火災や感電、故障のおそれがあります。



## 注意

取り扱いかたによっては  
—— けがをしたり機器を損傷することがあります ——

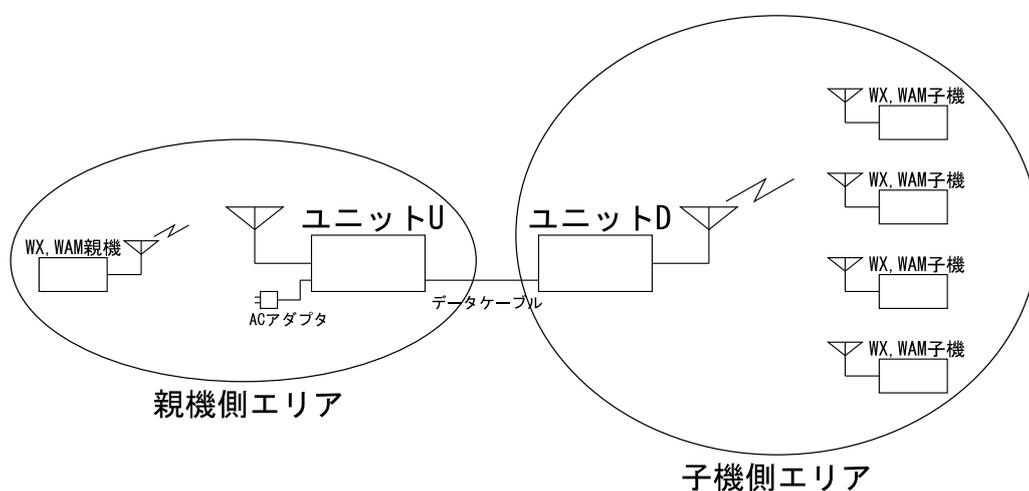
- ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 直射日光のあたる場所、極端に高温・低温になる場所、湿度の高い場所、ほこりの多い場所、静電気の多い場所では使用しないでください。
- 急激な温度差を与えると結露が発生する可能性があります。発生した場合は必ず時間をおき、結露が無くなってから使用してください。
- 持ち運びは慎重に行ってください。落下など強い衝撃を与えますと故障の原因となります。

# 1. 概要

## 1-1. はじめに

ワイヤレスオーディオリピータ GPI-WX201 は、弊社の GPI-WAM シリーズ、GPI-WX シリーズ専用の無線中継装置です。本製品と組み合わせることで、電波的障害物を避けたり、別の部屋などへの音声配信が可能となります。

上流側ユニット（以下ユニットU）は、WAM、WX シリーズの親機からの電波を受信し、音声データに変換してデータケーブルへ出力します。下流側ユニット（以下ユニットD）は、データケーブルの音声データを電波へ変換して、WAM、WX シリーズの子機へ送信します。両ユニット間は、添付の1mのデータケーブルで接続しますが、市販のLANケーブルにより、最大10mまで対応可能です。



## 1-2. 特長

### 特長

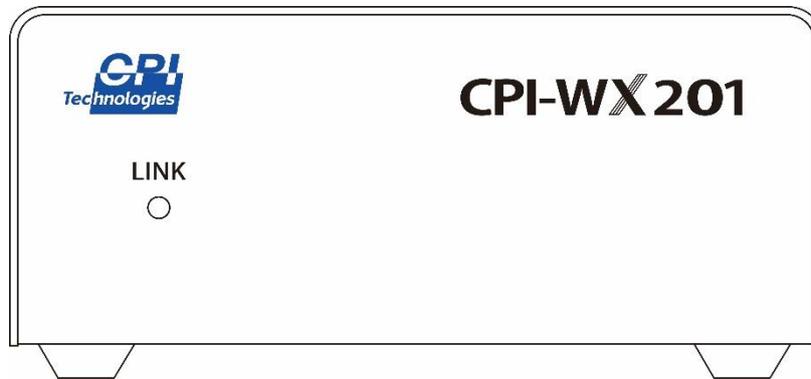
- 音声をデジタルのまま処理するため、データ改変のない（ビットパーフェクト）高音質な中継が可能です
- 上流側と下流側のユニットが分離しているため、さまざまな設置環境に対応できます
- 上流側と下流側のユニット間は、LAN ケーブルにて、標準で 1m、最大で 10m 離すことができます
- 電源は、上流側ユニットにのみ AC アダプタが必要で、下流側ではケーブル給電のため不要です
- 日本国内では無許可で使用できません（工事設計認証取得済み無線モジュール使用）

### 注意

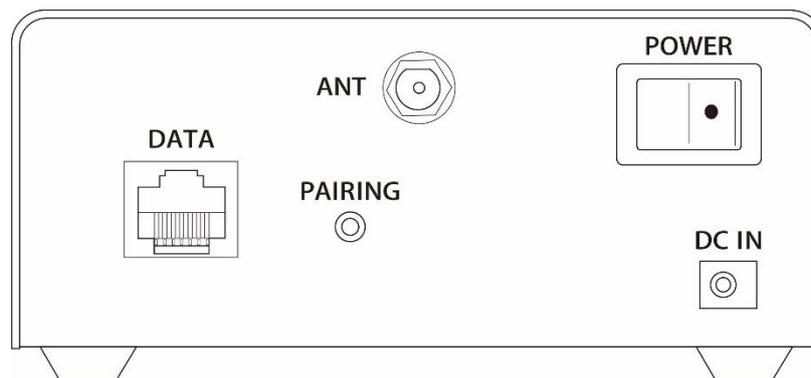
本機で中継を行うと、音声遅延が発生するため、全体では規定の 2 倍になります。例えば、サンプリング周波数 44.1kHz の場合、親子直接通信では 23.22ms ですが、本機で中継を行うと、 $23.22 \times 2 = 46.44\text{ms}$  の遅延になります。

## 2. 各部の名称と役割

### 2-1. 上流側ユニット（ユニットU）



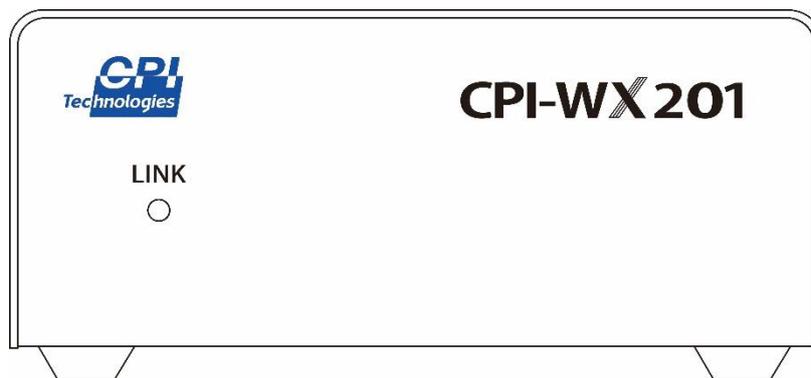
前面



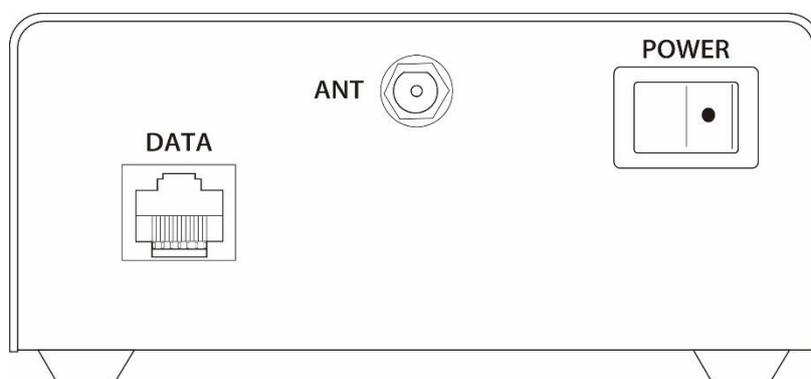
背面

表示	名称	説明
LINK	リンク LED	上流側の無線リンクの状態を表すランプです。 緑点灯：無線リンク確立 緑点滅(0.02 秒点灯/0.98 秒消灯)：無線リンク未確立 消灯：電源オフ
DATA	データケーブルコネクタ	データケーブルを接続するコネクタです。 ※LAN 機器とは絶対に接続しないでください。
ANT	アンテナコネクタ	スリーブアンテナまたはパッチアンテナを接続するコネクタです。
PAIRING	ペアリングスイッチ	親機との無線リンクの確立(ペアリング)を行うスイッチです。
POWER	電源スイッチ	電源スイッチです。
DC IN	電源入力	付属の AC アダプタを接続します。

## 2-2. 下流側ユニット (ユニットD)



前面



背面

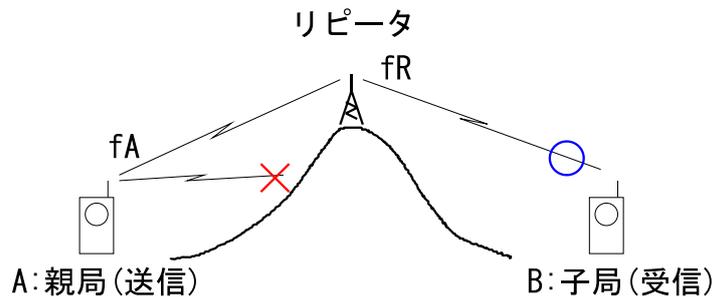
表示	名称	説明
LINK	リンク LED	下流側の無線リンクの状態と上流側ユニット U の状態を表すランプです。 緑点灯: 無線リンク確立、ユニット U 電源オン 緑点滅(0.5 秒点灯/0.5 秒消灯): 無線リンク確立、ユニット U 電源オフ 緑点滅(0.02 秒点灯/0.98 秒消灯): 無線リンク未確立 消灯: 電源オフ
DATA	データケーブルコネクタ	データケーブルを接続するコネクタです。 <b>※LAN 機器は絶対に接続しないでください。</b>
ANT	アンテナコネクタ	スリーブアンテナまたはパッチアンテナを接続するコネクタです。
POWER	電源スイッチ	電源スイッチです。

## 3. 準備

### 3-1. リピータとは

リピータとは電波の中継機です。受信した内容を再送信することで、直接電波の届かない相手への通信を実現します。身近な例では、衛星放送や携帯電話も広義のリピータと言えます。

例えば、Aが親局（送信）でBが子局（受信）とします。両者の距離が通信可能な範囲にあったとしても、山という障害物があるために、Aからの電波はBへは届きません。この場合、この山の上にリピータを設置すれば、Aからの電波はBへ届くはずで、リピータが見かけの通信相手になります。

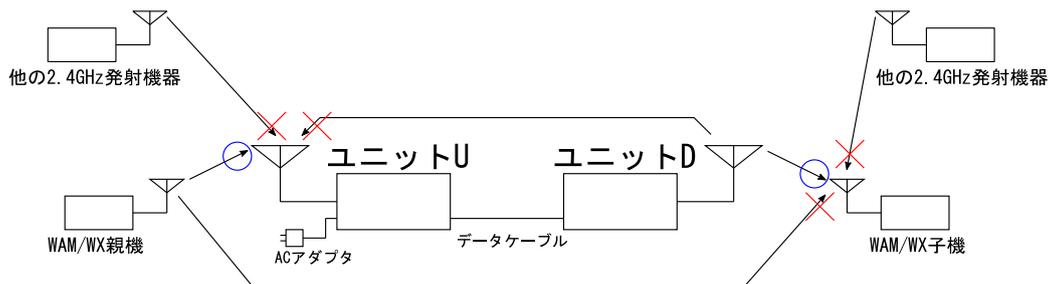


屋内の場合でも、上記の例と同じことが言えます。2.4GHzという高い周波数の性質から、金属はもとより、あらゆる物体が障害物になり得ます。したがって、親子間で見通しが得られず音切れが発生したり、リンクそのものが確立しない環境では、リピータを設置することによって、解消、改善する可能性があります。

## 3-2. リピータと電波干渉

昨今の無線使用機器の増加に伴い、2.4GHz帯は相当な過密状態になっています。周辺に2桁台の無線機器がある環境も珍しくありません。このような機器間では、限られた周波数を取り合って、相互に妨害し合う電波的干渉が発生しています。WAM/WXシリーズの場合は、2.4GHz帯の中に特定の周波数（チャンネル）を複数持ち、それらを一定時間ごとに移動しています（周波数ホッピング）。すでに電波が出ているチャンネルを避ける機能（適応型）も持っています。よって妨害には強くなっていますが、近くに強力な電波発射機器があったり、その数が多くなると、通信が途切れる可能性もあります。

一般的なリピータでは、fAという周波数を受信して、その内容をfRという別の周波数で送信します。なぜなら両者が同じ周波数の場合、自分が送信した電波が自分の受信回路に回りこみ、自分で自分を妨害してしまうことになるためです。本機の場合は、上記のような工夫があるため安定した通信が可能です。親機、子機、ユニット間で干渉し合う可能性を常にはらんでいる（ユニットUにとって親機が通信相手ですが、ユニットDは妨害源になります。子機にとってユニットDが通信相手ですが、親機は妨害源になります）ため、使用環境に合ったアンテナの選択やその配置が重要となります。



### 3-3. アンテナの特徴

- スリーブアンテナ



スリーブアンテナは、ユニットの背面のアンテナ端子に取り付けた後、90度折り曲げて垂直にしてお使いください。このとき、水平全方向へ電波を送信、または水平全方向からの電波を受信します（垂直偏波、水平面無指向性）。無指向性なので、アンテナの方向合わせの必要がなく、設置場所の自由度が増しますが、反面妨害には弱くなりますので、親機側エリアと子機側エリア同士が互いに見通せず、かつ親機とユニットU、またはユニットDと子機間の距離が数メートル以内の場合に適しています。また、ユニットDに対して子機が複数ある場合、移動する場合に最適です。



ユニットUへの取付例

## ● パッチアンテナ



パッチアンテナは、ユニットの上に置いたり（磁石付）、平らな場所に置いて使います。このとき、指向性面の方向へ電波を強く送信、または指向性面の方向からの電波を強く受信します（垂直偏波、水平面指向性）。指向性があるため、妨害に強くなりますが、アンテナの方向を合わせる必要があり、子機が複数ある場合や、移動する場合には適さない場合があります。親機とユニット U、またはユニット D と子機間の距離が数メートルを超える場合、また周囲に妨害源が多い場合に最適です。



指向性面

本機側にパッチアンテナを使う場合、組み合わせる WAM/WX シリーズのアンテナも、パッチアンテナ CPI-WAM903 にすることで、最高の効果が得られます。

CPI-WX001 は接続できます。

CPI-WAM001/800 の場合、外部アンテナタイプ(-E)であれば、接続できます。

CPI-WAM001/800 の内蔵アンテナタイプ(-I)や WX101 では接続できません。

詳しくは、それぞれのマニュアルをご覧ください。

## 3-4. ペアリング

ペアリングとは、特定の親機と子機を組み合わせ、無線ネットワークのグループを構築することを言います。最初のご使用の際にペアリングを実行して機器の情報を登録すると、以降の電源オン時、その情報を使って自動的に無線接続（リンク）を確立しようとしています。本格的な設置をする前に、ペアリングを行っておくことをお勧めします。

本機はリピータであり、2つの別のグループを持ちます。ユニットUは、親機側グループの子機、ユニットDは、子機側グループの親機となります。したがって、それぞれのグループごとにペアリングを行う必要があります。

1. 本製品に関する機器を数メートル以内に集めてください。
2. 登録するWAM/WXシリーズの機器は、電源とアンテナを接続し、動作可能な状態にしておきます。**電源スイッチはオフ**にしておいてください。
3. ユニットU、ユニットDの**電源スイッチがオフ**であることを確認します。
4. それぞれの背面のアンテナ端子(ANT)に、添付のスリーブアンテナを真っ直ぐのまま、ねじの要領で取り付けます。十分に締まったら、根元のくぼみが上になるように回転させ、そこで垂直に折り曲げます。
5. ユニット間を添付のデータケーブルで接続します。
6. 添付のACアダプタをコンセントに挿して、ユニットUに接続します。
7. 親機側グループのペアリングを行います。
8. WAM/WXシリーズの親機の電源スイッチをオンにします。
9. ユニットUの電源スイッチをオンにします。
10. 背面にあるペアリングスイッチ (PAIRING) を押してすぐに離してペアリングを行います。ペアリングが成功すれば、前面パネルのリンクLED (LINK) が、緑色の早い点滅（チカッ、チカッ、・・・）から緑色の点灯に変化します。
11. 親側グループのペアリングに成功したら、必ず **WAM/WX シリーズの親機とユニットU 両方の電源スイッチをオフ**にしてください。
12. 子機側グループのペアリングを行います。
13. ユニットDの電源スイッチをオンにします。
14. WAM/WXシリーズの子機の電源スイッチをオンにします。
15. それぞれのマニュアルを参照してペアリングを実行します。成功すればユニットDの前面パネルのリンクLED (LINK) が、緑色の早い点滅（チカッ、チカッ、・・・）から緑色の遅い点滅（チーカーチーカ・・・）に変化します。
16. 子機側グループのペアリングに成功したら、WAM/WXシリーズの子機とユニットDの電源スイッチをオフにしてください。

17. 以上でペアリング作業は終了です。次回からは、電源をオンにすれば、自動的にこのペアでのリンク成立の試行をします。

## 注意

- ユニットRのペアリングスイッチを不用意に押すと、ペアリング情報が失われてリピータ動作ができなくなる可能性があります。そのような状態に陥った場合は、ペアリングを最初からやり直してください。特にユニットDとペアリングしやすいのでご注意ください。
- WAM/WX シリーズの子機は、ペアリング操作をすることで、親機からの電波を直接受けたり、リピータ経由の電波を受けたりと、そのルートをダイナミックに変更できますが、逆に固定化したい場合は、不用意にペアリング操作を行わないでください。

## 4. 使用

### 4-1. 基本的な使用方法

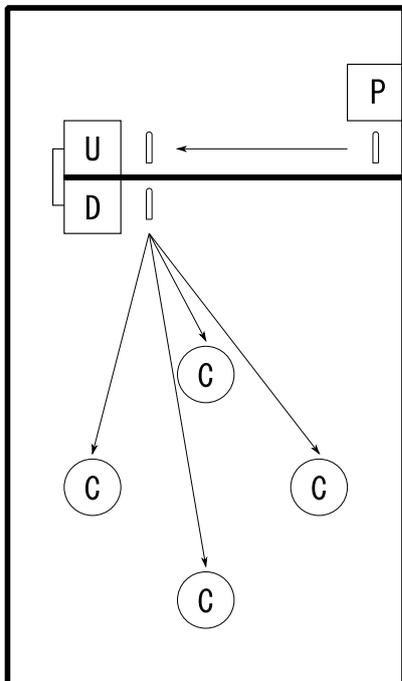
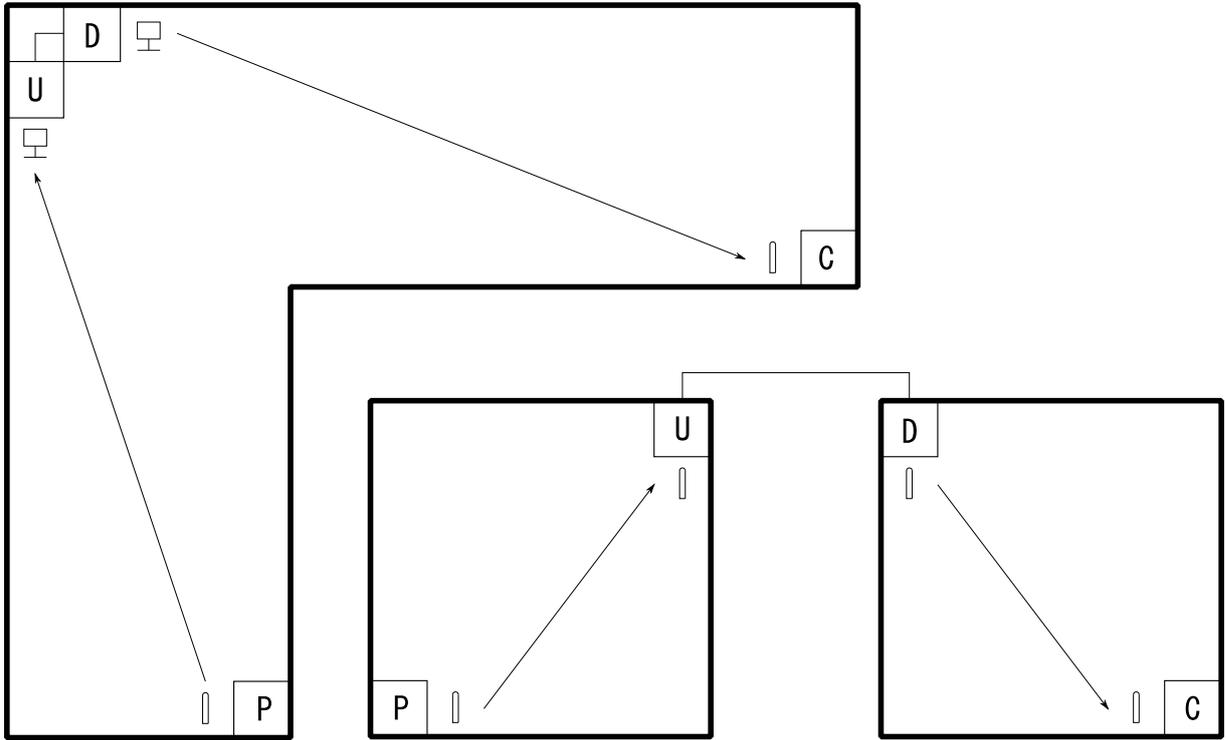
1. ユニットUとユニットD間をデータケーブルで接続し、それぞれの電源スイッチをオンにします。
2. WAM/WX シリーズの親機の電源スイッチをオンにし、リンク状態を確認します。正常であれば、音源を入力します。
3. WAM/WX シリーズの子機の電源スイッチをオンにし、リンク状態を確認します。正常であれば、音源の音声が出力されます。

### 4-2. 音の途切れ

本製品は電波を使用しているため、音が途切れる可能性をつねに持っています。親機からの電波をユニットUが受けられない、もしくはユニットDからの電波を子機が受けられなくなると、通信エラーとなって音は途切れます（子機には基本的には無音が出力されます）。音の途切れを減少させるためには、一般的には以下の内容をお試しください。

- ユニットUとユニットDを互いに見通せない配置にする
- 親機-ユニットU、ユニットD-子機間の見通しを確保する
- 親機-ユニットU、ユニットD-子機間の距離を近づける
- 電波妨害源（電波使用機器、金属）から離す
- アンテナを高い位置に設置する
- パッチアンテナを使用する（ただし相手が1台でかつ固定の場合）
- パッチアンテナの場合、アンテナの方向を合わせる

## 5. 設置例



### 凡例

- U ユニットU
- D ユニットD
- P WAM/WX親機
- C WAM/WX子機
- C WAM/WX子機（内蔵アンテナ／移動）
- ⏏ スリーブアンテナ
- ⏏ パッチアンテナ

## 6. おかしいと思ったら

WAM/WX シリーズ側の問題の可能性もあるため、そちらのマニュアルも参照してください。

内容	確認事項、説明
ユニット U もユニット D も電源が入らない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源スイッチはオンになっていますか？</li> <li>2. AC アダプタは電源入力に確実に接続されていますか？</li> <li>3. AC アダプタはコンセントに確実に接続されていますか？</li> <li>4. コンセントに AC100V は来ていますか？</li> </ol>
ユニット U のみ電源が入らない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源スイッチはオンになっていますか？</li> </ol>
ユニット D のみ電源が入らない	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 電源スイッチはオンになっていますか？</li> <li>2. データケーブルはユニット U、ユニット D に確実に接続されていますか？</li> <li>3. 市販の LAN ケーブルの場合、10m 以内で、すべて端子間に配線がされている、ストレートタイプですか？</li> </ol>
親機とユニット U の間の無線リンクが成立しない(リンク LED が点灯しない)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 親機の電源は入っていますか？</li> <li>2. アンテナは正しく取り付けられていますか？</li> <li>3. パッチアンテナの場合、その方向は正しいですか？</li> <li>4. <a href="#">ペアリング</a>を実行して成功しましたか？</li> <li>5. 親機とユニット U 間の距離が遠すぎませんか？</li> <li>6. 親機とユニット U は見通し位置にありますか？</li> <li>7. 周囲に妨害機器がありませんか？</li> <li>8. ペアリング成立後に、意図せずにペアリングを実行されませんでしたか？その際は、親機側グループの<a href="#">ペアリング</a>を実行してください。</li> </ol>
ユニット D と子機間の無線リンクが成立しない(リンク LED が点灯しない)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 子機の電源は入っていますか？</li> <li>2. アンテナは正しく取り付けられていますか？</li> <li>3. パッチアンテナの場合、その方向は正しいですか？</li> <li>4. <a href="#">ペアリング</a>を実行して成功しましたか？</li> <li>5. ユニット D と子機間の距離が遠すぎませんか？</li> <li>6. ユニット D と子機は見通し位置にありますか？</li> <li>7. 周囲に妨害機器がありませんか？</li> <li>8. ペアリング成立後に、子機は他の親機に対してペアリングが成功していませんか？その際は、子機側グループの<a href="#">ペアリング</a>を実行してください。</li> </ol>
出力音が途切れる	<a href="#">こちら</a> を参照してください

## 7. 製品仕様

名称	ワイヤレスオーディオレピータ	
型番	CPI-WX201 (ユニット U: CPI-WX201 U / ユニット D: CPI-WX201 D)	
インターフェイス	DATA	8P8C モジュラージャック I2S 音声データ+電源 (独自仕様)
無線	周波数	2.4GHz 帯
	アンテナ	スリープアンテナ×2、パッチアンテナ×2 標準添付
	音声データ圧縮	なし
	リンク数	1 セットにつき最大 4 台までの子機に音声配信可能
	リンク方法	ユニット U: ペアリングスイッチの押下
	到達距離	ユニット D: 見通しで 100m 以上 (スリープアンテナ)
	対応機器	弊社製 CPI-WAM001 を使った機器 CPI-WAM800 を使った機器 CPI-WX001 CPI-WX101 CPI-WX201 (多段レピータ) (マニュアル発行日現在)
音声	内部フォーマット	I2S (16 ビット) サンプリング周波数は親機と同じ
	データ遅延	1024 サンプル (23.22ms @ 44.1kHz) ※本機内での遅延分
	電源	AC100V±10% 50/60Hz (専用 AC アダプタ使用)
本体	消費電力	30VA 以下 (AC アダプタ)
	動作温度範囲	5~50°C
	保存温度範囲	-5~70°C
	寸法	幅 120mm×奥行 100mm×高さ 56mm (突起物を除く)
	重量	約 370g (1 ユニットあたり、付属品を除く)
	認証	工事設計認証取得済みモジュール 弊社 CPI-WAM001 シリーズ搭載 日本国内において無許可で使用可能

## 製品のお問い合わせについて

- ◆ お買い求めいただいた製品に対する次のようなお問い合わせは、お求めの販売店又は株式会社シーピーアイテクノロジーズへご連絡ください。
  - ・お求めの製品にご不審な点や万一欠品があったとき
  - ・製品の補充品や関連商品について
  - ・本製品を使用した特注製品についてのご相談
- ◆ 技術サポート —— 技術的な内容のお問い合わせは、「電子メール」「ファクス」「郵送」のいずれかにて、下記までお問い合わせください。また、お問い合わせの際は、内容をできるだけ詳しく具体的にお書きくださるようお願いいたします。

————— 技術的な内容のお問い合わせ先 —————

株式会社シーピーアイテクノロジーズ テクニカルサポート  
〒240-0003 横浜市保土ケ谷区天王町 1-1-13 吉野ビル 3F  
E-mail support@cpi-tec.com  
FAX 045-331-9203

ワイヤレスオーディオリピータ  
CPI-WX201  
ユーザーズマニュアル

---

第1版第1刷発行 2015年8月19日  
発行所 株式会社シーピーアイテクノロジーズ  
〒240-0003 横浜市保土ヶ谷区天王町1-1-13 吉野ビル3F  
TEL 045-331-9201 FAX 045-331-9203

---

不許複製

T0051-UM1-150819  
© 2015 株式会社シーピーアイテクノロジーズ